



第4回大阪マラソン チャリティ事業 実施報告

2015.1.30

- チャリティ専門部会組織構成
- (1) 第4回大会の募金総額
- (2) チャリティテーマおよび13の寄付先団体
- (3) チャリティアンバサダー
- (4) チャリティランナー制度
- (5) チャリティランナーサービス
- (6) 大阪マラソンEXPO
- (7) 沿道での応援
- (8) 第4回大阪マラソン チャリティ募金額内訳
- (9) 第4回大阪マラソン 各団体への寄付金額

大阪マラソン組織委員会





■チャリティ専門部会

大阪マラソンのチャリティプログラムについては、下記の専門部会において、各分野の専門家など5名の委員に、基本方針や内容の議論、検討を行っていただきました。

名称:「大阪マラソン組織委員会 チャリティ専門部会」

委員(座長)	橋爪紳也氏(大阪府立大学 観光産業戦略研究所長)
委員	杉本厚夫氏(関西大学 人間健康学部教授)
委員	梶川拓也氏(ジャスト・ギビング・ジャパン事務局長)
委員	徳永眞一郎氏(電通関西支社 統合ソリューション局長)
委員	窪田邦倫氏(読売新聞大阪本社 専務取締役事業本部長)

オブザーバー:大阪マラソン組織委員会事務局

事務局:読売新聞大阪本社



(1) 第4回大会の募金総額

第4回大阪マラソンではチャリティプログラムに多くの方から賛同をいただき、総額1億円を超える募金を集めることができました。

第1回	2011年	19,209,310 円
第2回	2012年	45,210,373 円
第3回	2013年	85,311,080 円
第4回	2014年	104,627,109 円

(2) チャリティテーマおよび13の寄付先団体

第4回大会ではチャリティ文化の普及、さらなる社会貢献をめざして寄付先団体を公募しました。全国から計33団体の応募があり、大会スローガン「みんなでかける虹。」にちなんだ7つのテーマにふさわしい13団体(表中の※が新規の8団体)を第4回大会の寄付先団体として選定しました。

大会の一般参加ランナーにはエントリー時に7色のテーマの中から支援したいテーマを選び、1人2口(@500×2=1,000円)を寄付していただきました。

	色	テーマ	寄付先(※:新規団体)	主な活動内容
1	赤	生きる希望を支える	京都大学iPS細胞研究所(※)	iPS細胞による再生医療・創薬の研究
			がんサポートコミュニティー	がん患者とその家族をサポート
2	オレンジ	夢を支える	スペシャルオリンピックス日本	知的障がいを持つアスリートを支援
			育て上げネット(※)	若年無業の状態にある若者たちの就労支援
3	黄	家族を支える	世界の医療団(※)	世界各地の恵まれない人々への医療支援
			難病の子どもとその家族へ夢を(※)	難病の子どもとその家族全員をサポート
4	緑	自然を支える	more trees	国内外で森づくりを支援
			オイスカ(※)	東日本大震災で失われた海岸林を再生
5	水色	きれいな水を支える	ウォーターエイドジャパン(※)	途上国の人々に安全な水と衛生を届ける
			国連UNHCR協会	難民や避難民の保護・支援
6	紺	子どもの未来を支える	国連WFP協会(※)	飢餓と貧困で苦しむ地域へ食糧支援
			ノーベル(※)	病児保育でひとり親家庭をサポート
7	紫	美しいまちを支える	greenbird	若者による街の美化活動

(3) チャリティアンバサダー

大阪にゆかりがある、あるいは、チャリティ活動をしている著名人7人を起用し、チャリティプログラムの意義や自身が賛同・参画するチャリティテーマについて広くPRし、寄付を呼び掛けると共に大会の盛上げに繋がりました。また、小湊健太郎さんのユニット「コブクロ」には大会公式テーマソング「42.195km」を制作してもらいました。



小湊健太郎
ミュージシャン コブクロ
※フルマラソン参加
※公式テーマソングを作成



山中伸弥
京都大学iPS細胞研究所長
※合同練習会を実施



中村翫雀
歌舞伎俳優
※スタートセレモニー出席
※Meetsインタビュー



アン ミカ
モデル／タレント
※チャリティステージ出演
※スタートセレモニー、フィニッシュ出迎え
※応援ステーションでの応援



赤星憲広
野球評論家
※チャレンジラン参加
※Meetsインタビュー



森 理世
ミス・ユニバース2007／モデル
※チャリティステージ出演
※スタートセレモニー、表彰式出演
※沿道応援(オレンジのステーションのみ)

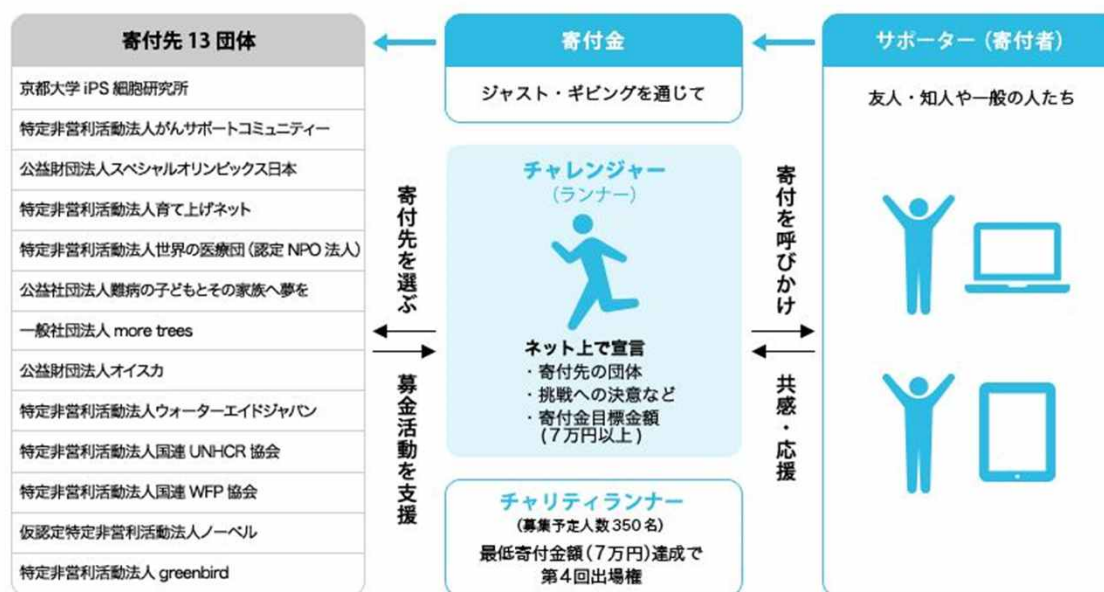


小島智子
元NFLチアリーダー
※ファンランイベントに参加

(4) チャリティランナー制度

【概要】

13の寄付先団体から自分が支援したい団体を1つ選び、「Just Giving Japan」(2015年1月21日付で「JAPANGIVING」に名称変更)を通じて広く一般から7万円以上の寄付金を集めたランナーに大会への参加資格を与える制度。前回是一般エントリー締め切り後、落選者を対象に実施しましたが、第4回大会は一般エントリーの受付開始と同時に行いました。



(4) チャリティランナー制度

① 団体ごとのチャリティランナー数、活動内容

寄付先団体は事前に目標設定したチャリティランナー枠数を上回る数のランナー獲得をめざし、団体のHPやSNSなどで参加を呼びかけました。

募集期間: 4月3日(木)～7月31日(木)

375人が9月30日(火)まで寄付を呼びかけ、7万円以上の寄付金を集めました(出場者数354人)。

	寄付先団体名	目標数	7万円以上 達成者数
赤	京都大学iPS細胞研究所	50	84
	がんサポートコミュニティ	20	28
オレンジ	スペシャルオリンピックス日本	20	29
	育て上げネット	20	27
黄	世界の医療団	20	14
	難病の子どもとその家族へ夢を	50	69
緑	moreTrees	20	11
	オイスカ	20	24
水色	ウォーターエイドジャパン	20	34
	国連UNHCR協会	20	6
紺	国連WFP協会	20	20
	ノーベル	20	11
紫	greenbird	50	18
	合 計	350	375

※参考 第3回大会

7万円以上 達成者数: 84名

出場者数: 80名

(5) チャリティランナーサービス

チャリティランナーの満足度を高めるため、以下のようなサービスを実施しました。

①チャリティランナー専用受付



②チャリティランナー専用ラウンジ(大阪城西の丸庭園 迎賓館)

・チャリティランナー専用の更衣室、休憩所を設けました。専用ラウンジ前には寄付先団体とチャリティーランナーが交流できるよう応援スペースを設け、チャリティランナーにお礼と激励の言葉をかけてもらいました。



(5) チャリティランナーサービス

③なないろチャリティTシャツ 価格4,000円(Tシャツ制作費など諸経費を除く2,000円が寄付金)

・7色のチャリティTシャツをランナー向けに販売し、大会当日に着用していただくよう促しました。

・寄付金額 22,510,000円(エントリー時に選択した第1チャリティテーマに寄付されます)



④ニックネーム入りナンバーカード(新規) 販売価格500円(売り上げの一部が寄付金)

・ランナーエントリー時に任意に申し込み

・寄付金額 483,400円(エントリー時に選択した第1チャリティに寄付されます)



(6) 大阪マラソンEXPO

①ランナーの名前を掲出(新規)

・支援してくれたことに対するお礼の意味を込めて、チャリティカラーごとにその色を選択したランナーの名前を掲出しました。また、チャリティランナーの名前も、寄付先団体ごとにランナーの名前を掲出しました。



一般ランナーの名前を、そのランナーが選んだチャリティカラーごとに掲出



自分の名前を見つけて写真を撮るランナー



チャリティランナーの名前も、支援をした寄付先団体ごとに掲出

(6) 大阪マラソンEXPO

②寄付先団体の募金活動

・寄付先団体がチャリティブースで募金活動を行いました。2日間で125万0965円の募金が集まりました。



	寄付先団体名	募金額
赤	京都大学iPS細胞研究所	15,000
	がんサポートコミュニティー	176,134
オレンジ	スペシャルオリンピックス日本	70,639
	育て上げネット	88,853
黄	世界の医療団	55,489
	難病の子どもとその家族へ夢を	107,690
緑	moreTrees	27,507
	オイスカ	72,300
水色	ウォーターエイドジャパン	28,612
	国連UNHCR協会	50,425
紺	国連WFP協会	289,495
	ノーベル	253,105
紫	greenbird	15,716
	合 計	1,250,965

(6) 大阪マラソンEXPO

③チャリティステージ

・大阪マラソンEXPOのステージでチャリティオークションを実施し、チャリティアンバサダーらのサイン入りグッズなどを出品、落札金額を募金としました。募金額 213,102円



④その他

・府市ブース募金額 8,240円

(7) 沿道での応援

①「ランナー盛上げ隊！」「7色応援ステーション」

・7色のテーマカラーを使って様々なパフォーマンスで30,000人のランナーを応援するイベント「ランナー盛上げ隊！」を沿道15ヶ所を実施。69団体93チームに出演していただき、ランナーだけではなく「みんなが楽しくなる大阪マラソン」を作り出しました。

また、15ヶ所のうち7ヶ所を「7色応援ステーション」として、チャリティカラーの順番(赤、オレンジ、黄、緑、水色、紺、紫)にそって各会場をテーマカラー1色で装飾。テーマカラーにちなんだ衣装やグッズでランナーを応援してもらいました。200円以上の寄付をいただいた方に「7色応援チャリティグッズ」をお渡ししました。



	7色応援 ステーション	盛上げ隊 実施場所	募金箱
1		デイリーカナートイズミヤ 玉造店前	—
2		北浜ネクスビルディング前	¥37,109
3		中道組本社ビル前	¥12,574
4		大阪市中央公会堂前	¥66,470
5		大阪市役所前	—
6		大阪御堂筋ビル・大阪センタービル前	—
7		京セラドーム大阪 ドーム前交差点付近	—
8	赤	浪速東2-6 北側空地	¥5,301
9	オレンジ	大阪市社会福祉研修・情報センター前	¥3,150
10		朝日プラザ岸里第1マンション前	—
11	黄	大阪市西南環境事業センター前	¥21,638
12	緑	ジャパン建材 大阪営業所前	¥14,762
13	水色	永井商運前	¥3,500
14	紺	大阪車輛工業前	¥5,241
15	紫	インテックス大阪 臨時第1駐車場	¥7,755
			¥177,500

(7) 沿道での応援

②7色応援グッズ

・インテックス大阪や沿道応援イベント会場で一定金額以上の寄付をいただいた方に「7色応援チャリティグッズ」を贈呈しました。

おもしろ応援ボード(200円以上)



7色ハイタッチ手袋(500円以上)



EXPO内 チャリティコーナー 募金額 696,857円

大会当日 コース沿道 募金額 177,500円

(8) 第4回大阪マラソン チャリティ募金額内訳

区 分	金額(円)	備 考	
ランナー参加料入金時の募金	47,203,500		
なないろチャリティTシャツ	22,510,000		
ニックネーム入りナンバーカード	483,400		
大阪マラソン特設サイト(Just giving)	30,910,100	うちチャリティランナー	30,328,300
公式プレイベントでの募金	45,983		
おおさかサマーファンラン2014(6/15)	18,937		
第5回大阪ごちそうマラソン(10/19) (※)	27,046		
府内商店街との連携イベントでの募金	27,006		
協賛社からの募金	260,169		
大阪マラソンEXPO2014での募金	2,260,236		
寄付先団体コーナー等での募金	1,350,277		
チャリティコーナーでの募金 (※)	696,857		
チャリティオークション 10/26 EXPO	213,102		
コース沿道での募金 (※)	177,500		
その他	3,090		
大阪マラソン募金箱(寄付先団体)	746,125		
合 計	104,627,109		

※なないろチャリティ応援グッズを進呈

(9) 第4回大阪マラソン 各団体への寄付金額

		団体名	募金額の使途(予定)	寄付金額(円)
1	生きる希望を支える (赤)	京都大学iPS細胞研究所	医療応用に向けて所内の革新的な研究に対する支援や、iPS細胞技術の特許の取得、研究所の安定的な運営に活用	14,082,672
2		がんサポートコミュニティー	がん予防啓発リーフレットと啓発バッジの制作や、関西でのがん患者とその家族への心理社会的サポートなどに活用	8,402,058
3	夢を支える (オレンジ)	スペシャルオリンピックス日本	「スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・福岡」の開催など、知的障がい者にスポーツの機会を提供	7,402,962
4		育て上げネット	経済的に困窮した若者が自己負担なく、＜若年者就労基礎訓練プログラム＞を受講できるように活用	7,185,730
5	家族を支える (黄色)	世界の医療団	乳幼児死亡率が高いラオスで、当団体が実施している小児医療プロジェクトの医療費として、5歳未満児の健診や診察の無料化などに活用	6,034,944
6		難病の子どもとその家族へ夢を	難病の子どもとその家族がユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどを訪れる家族全員旅行の実施や、当団体の関西での活動開設などに活用	10,141,930
7	自然を支える (緑)	more trees	森林荒廃が深刻なフィリピン・キリノ州での植林事業や、果樹を同時に育てることで現地の貧困を削減する事業に活用	6,120,635
8		オイスカ	津波で失われた宮城県名取市の海岸林約100haの再生を目指して行う50万本の育苗および植栽や、これらを通じた被災農家などの生計支援に活用	8,750,597
9	きれいな水を支える (水色)	ウォーターエイドジャパン	世界では約7億6800万人の人々が安全な水や、約25億人の人々が適切なトイレが使えず、これらの人々が安全な水、適切なトイレが使えるようにアジア、アフリカで実施する支援プロジェクトに活用	7,131,171
10		国連UNHCR協会	アフリカの難民キャンプで難民1人につき最低1日15リットルの給水事業に活用	5,139,735
11	子どもの未来を支える (紺色)	国連WFP協会	アフリカの子どもたちが飢えることなく健全に成長し、学び、将来、貧困を克服することを目指す「学校給食プログラム」に活用	7,924,772
12		ノーベル	ひとり親家庭に2年間病児保育を提供し、「子どもの急病時でも仕事を続けられる安心感」「ひとり親家庭の就労・経済的自立の支援」「子どもに貧困が引き継がれる連鎖の断ち切り」を実現することに活用	7,264,969
13	美しいまちを支える (紫色)	greenbird	全国各地、とくに関西での清掃活動のボランティアを行う際の活動資金に活用	9,044,934
合 計				104,627,109